

## 29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： \_\_\_\_\_

病院施設番号： 030030 \_\_\_\_\_

臨床研修病院の名称： 医療法人 王子総合病院 \_\_\_\_\_

臨床研修病院群番号： 030030 \_\_\_\_\_

臨床研修病院群名： 王子総合病院臨床研修病院群 \_\_\_\_\_

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	王子総合病院卒後臨床研修プログラム			
2. 研修プログラムの特色	本院は多様な愁訴をもって多くの患者様が来院しており、研修医は患者様から多くのことを学ぶ事ができると思われる。多くの若い医師をより良い総合診療医・プライマリ・ケア医に育成できるよう病院の組織をあげて準備している。研修プログラムは必要な到達目標をスムーズに効果的に達成できる様に作成されており、基本的な問診、コミュニケーション法、総合医療、小児救急、救急医療、周産期医療、麻酔法等の修得に力を入れたプログラムである。			
3. 臨床研修の目標の概要	第一線の臨床医又は専門医を目指す医師として第一歩を踏み出すに当り、初期診療から高度専門医療の現場の体験を通じて、必要な基本的知識、技術、態度を修得し、併せて医学の進歩に対応して診療能力向上を図る為の基礎を培い、地域医療を担うチームの一員として他職種との連携を保ち、患者及び家族の心理的、社会的側面への理解を深め、問題を解決できるバランスのとれた人材育成を目的とする。			
4. 研修期間	( 2 ) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)			
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。			
5. 臨床研修を行う分野	<b>研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間)</b> * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。			
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目・分野	内科	030030 王子総合病院	24週	週
	救急部門	030030 王子総合病院	12週	
	地域医療	050030 浦河赤十字病院	4週	一般外来 3.6週 在宅診療 0.4週
		056497 勤医協苦小牧病院		
		056529 むかわ町国民健康保険穂別診療所		
		056558 日高町立門別国民健康保険病院		
	外科	030030 王子総合病院	4週	週
	小児科	030030 王子総合病院	4週	2週
産婦人科	030030 王子総合病院	4週		
精神科	030031 道央佐藤病院	4週		
一般外来				
病院で 定めた 必修 科目				

選択 科目	必修科目・整形外	030030	王子総合病院	56 週
	科・心臓血管外	030031	道央佐藤病院	
	科・脳神経外科・	030010	北海道大学病院	
	耳鼻咽喉科・泌尿	030018	札幌医科大学附属病院	
	器科・放射線治療	032098	苫小牧保健所	
	科・眼科・麻酔	032441	老人保健施設ケアライフ王子	
	科・保健、医療行	050030	浦河赤十字病院	
	政	056497	勤医協苫小牧病院	
		056529	むかわ町国民健康保険穂別診療所	
		056558	日高町立門別国民健康保険病院	

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 88 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。  
臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 12 週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。  
研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門  
の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約 80 回/2 年  
救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週※但し、4 週を上限とする  
一般外来の研修を行う診療科・・・地域医療・小児科 ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

内科（呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液腫瘍内科、神経内科）を 24 週以上、救急を 12 週以上、外科（一般外科）、小児科、産婦人科、精神科、一般外来研修をそれぞれ 4 週以上、2 年次に地域医療研修を 4 週以上必修とする。

選択科目として、必修科目の他に整形外科、心臓血管外科、脳神経外科、放射線治療科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科を選択して研修することが可能である。

選択科目は、研修期間に特段の期限を定めず、原則として研修医の希望に応ずる。

救急部門の研修は、救急診療に必要な基本的手技習得の一環として、麻酔研修と並行して救急診療（救急外来における診療）を 4 週行うとともに、研修期間中に週に 1 回程度、夜間救急外来にて指導医・上級医のもとに適宜行う。

地域医療研修は浦河赤十字病院、勤医協苫小牧病院、むかわ町国民健康保険穂別診療所、日高町立門別国民健康保険病院から選択して研修することが可能である。

一般外来研修は、地域医療研修、小児科の研修と並行して指導医のもとに適宜行う。

精神科の研修は、研修協力病院の道央佐藤病院で行う。

選択科目として北海道大学病院、札幌医科大学附属病院で最大 8 週研修することが可能である。

保健・医療行政としての保健所、老人保健施設での研修は、選択科目として研修することが可能である。

ローテーションの順番は研修管理委員会で決定する。





の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

\* 2 : 「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

\* 3 : 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。